

# テコンドーの全日本学生選手権（インカレ）で優勝しました

本校令和2年3月（普通科・健康スポーツコース）卒業の仙台大学体育学部体育学科2年生、<sup>はやて</sup>鈴木 颯 君が「第15回全日本学生テコンドー選手権大会（インカレ）」のプムセ有段個人男子の部で学生チャンピオンになり、11月18日（木）母校を報告のために訪れてくれました。田中学科長と共に校長室を訪問し、岡邦広校長に「全日本テコンドー選手権大会でもよい結果が残せるように頑張りたい。」と決意を述べました。



## 【体育学科長 田中康義先生から】

高校在学中は海外試合にも出場していて、試合前の減量で苦しい姿があったことを懐かしく思い出していました。怪我の克服やコロナ禍で練習も思うようにできない中で、初出場の「型」で優勝できたことについては、テコンドーに懸ける颯君の熱い思いに触れることができました。長年の練習の成果がこのような形であらわれたことに大変嬉しく思います。世界大会での活躍も期待しています。

## 《仙台大学のホームページから》



▲仙台大学高橋仁学長と鈴木颯君

**プムセとは**、テコンドーにおける各種防御と攻撃技術の組み合わせにより構成された「型」の競技です。一定の演武線（進行線）にしたがって、四方八方に動きながら型を行います。各級ごとに演じる型が決まっており、単純な動きから級が上がるごとに複雑な動きへと、段階を追って技術を身に付けていけるように構成されています。

《仙台大学HP》 <https://sendaidaigaku.jp/news.html?post=2213>